



とくしま 県議会だより

第119号【年4回発行】

令和5年11月12日

編集・発行／徳島県議会

〒770-8570 徳島市万代町1丁目1番地

TEL.088-621-3010

FAX.088-655-2530

ホームページアドレス

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/gikai/>



9月定例会の概要

会期 令和5年9月14日～10月10日

県政の重要課題解決に向けた 9月補正予算などを可決

開会日には、安心度アップ、魅力度アップ、透明度アップを3本柱とする9月補正予算などが提案されるとともに、その概要や航空路線の拡充、農林水産物のプロモーション、社会基盤整備の推進、こどもまんなか社会の実現、日本一の教育環境づくりなどの重要施策について、知事から所信が述べられました。

代表・一般質問では、新ホールの整備、次年度当初予算に向けた財源確保、子どもはぐくみ医療費助成の拡充や新たな少子化対策の在り方などのこども政策、農林水産物・食品の輸出促進や多様な林業事業、観光地における受入環境の整備などの産業振興策、そのほか災害時の初動対応力の強化、ふるさと納税の取り組み、道路・河川の維持修繕、医師や教員の働き方改革、公契約条例などについて論議しました。

今定例会では、「国民皆歯科健診の実現を求める意見書」等の意見書3件を議員提出し、可決しました。また、知事提出議案25件を原案どおり可決しました。

9月定例会の主な審議の結果

●可決された議案

○令和5年度補正予算

- ・一般会計（2件）

補正予算額は168億6,472万6千円の増額で、補正後の予算は、5,330億8,872万6千円

- ・特別会計（1件）

- ・企業会計（1件）

○条例の制定（3件）

- ・徳島県知事の在任期間に関する条例 など

○条例の改正（6件）

- ・徳島県危機管理環境関係手数料条例の一部改正 など

○負担金案件（8件）

○契約案件（3件）

○その他（1件）

- ・徳島県男女共同参画基本計画（第5次）の策定について

●可決された意見書（3件）

- ・国民皆歯科健診の実現を求める意見書

- ・保育士・放課後児童支援員等の配置基準改善等を求める意見書

- ・地域医療を担う医師の確保対策の充実を求める意見書

提出議案や各議員の表決態度については県議会ホームページに掲載しています。

徳島県議会 定例会の概要 検索



夏休み中学生県議会体験会を実施しました

詳細はこちらの
二次元コードから



令和5年8月4日、議事堂において、夏休み中学生県議会体験会を実施し、城東中学校、大麻中学校、あわっ子文化大使の14名の中学生と議長、副議長、4名の議員が参加しました。正副議長室を訪問した後、議場にて議会の活動について説明を受けました。

その後、2つのグループに分れ、第1委員会室では、「インターネットをかしこく活用しよう」をテーマに、第2委員会室では、「徳島の魅力を発信しよう」をテーマに、中学生が意見発表を行い、議員と意見を交わしました。



議場



城東中学校、大麻中学校
の皆さん

第1委員会室



第2委員会室

あわっ子文化大使
の皆さん

県議会小学生社会見学ツアーを開催しました



本会議の傍聴と議事堂や県庁舎、警察本部の見学を組み合わせた「県議会小学生社会見学ツアー」を開催しました。

9月14日には大野小学校6年生の皆さん、9月21日には海部小学校5、6年生の皆さん、9月22日には西麻植小学校6年生の皆さんが参加されました。



大野小学校
(阿南市)の皆さん



海部小学校
(海陽町)の皆さん



西麻植小学校
(吉野川市)の皆さん

代表質問から

主な質問とこれに対する知事や関係部局の答弁の趣旨は次のとおりです。

答 知事の答弁 答 関係部局の答弁

新ホールは現行案どおりプロジェクトを進めるべき



寺井正遼 (徳島県議会自由民主党)

問 新ホールの整備について、「大ホールの縮小、小ホールの廃止ありき」の考え方を改め、現計画を基本に、真に県民が納得できるものとすべき。

答 県民アンケートの結果をしっかりと受け止めるとともに、9月定例会での論議を踏まえ、新ホールのあるべき姿を明確にし、11月定例会で未来に遺す良いレガシーを示したい。

問 農地を守り、食料を安定的に供給するためには、大規模な営農が可能となる、農業基盤の整備を積極的に進める必要があると考えるがどうか。

答 意欲ある担い手が、ドローンや遠隔給排水システムなどのスマート技術を導入し、経営規模を拡大できるよう、国の事業を活用し、スマート農業対応型基盤整備の推進を加速する。

問 老朽化が著しく、防災拠点となる県有施設のうち、唯一耐震性が確保されていない阿波吉野川警察署の庁舎整備に向け、どのように取り組んでいくのか。

答 事件・事故や災害への対応、県民の利便性などを考慮し、現在地の建て替え整備に向け、取り組みを進めることとし、今後、速やかに新庁舎の機能や性能、事業手法について、検討を開始する。

本物の文化に触れることができる現行計画で新ホールの整備を



北島一人 (徳島県議会自由民主党)

問 機能を無視した工事費削減ありきの引き算の考え方ではなく、経済波及効果等大きな可能性を秘めた現行計画で新ホール整備を早急に進めるべき。

答 財政面、機能、工期に加え、県都の魅力度アップの観点から、専門的知見も取り入れ、しっかりと議論を重ね、11月定例会において県としての案をお示しする。

問 脊柱側弯症を持つ全ての子どもたちの早期発見と適切な治療につながるため、検査機器による画像や計測データを用いた検診体制を構築すべき。

答 徳島大学や徳島県医師会等関係機関と連携し、検査機器を用いた検診モデルの構築に向けた検討を加速化させ、脊柱側弯症の早期発見、速やかな治療につながる環境づくりを目指す。

問 大規模災害発生時において、避難所のトイレから発生するし尿の確実な収集運搬や、浄化槽の機能確保に向け、どのように取り組むのか。

答 災害支援協定に基づく広域実働訓練の実施による収集運搬体制づくりや、個々の浄化槽を二次元バーコードにより管理する浄化槽台帳システムのDX化を全国に先駆け実施していく。

県都のまちづくり推進に民間活力の導入を



岸本淳志 (グローバルplus)

問 現在、新アリーナやホール、中央卸売市場や徳島駅北口の開発等が進められようとしている。民間活力を活用した施設整備にどう取り組むのか。

答 新アリーナについて、全国の先進事例の研究を進めており、11月定例会での調査費提案に向け検討を進める。中央卸売市場の再整備は、県市連携のワーキンググループで議論を重ねる。

問 インバウンド復活の傾向が顕著となり、国際線の誘致を大きく加速させる段階にあるが、新規航空路線の誘致について、どのように取り組んでいるのか。

答 誘致対象国をタイはじめ東南アジアや韓国へ広げているところ。8月下旬にはタイに赴くなど、トップセールスを展開。相手国と協力・信頼関係を築きながら国際線誘致に取り組む。

問 四国4県が一致する岡山ルートへの推進は、新幹線整備の早期実現に向け現実的で実効性の高い判断だと考えるが、どのように道しるべを付けていくのか。

答 骨太の方針に基本計画路線の調査検討実施が、また国交省の概算要求に所要の予算が盛り込まれるなど気運が高まる中、四国4県が一つにまとまり、国やJRR四国との調整に取り組む。

全ての人が安心して暮らせる社会の実現を



東条恭子 (新しい県政を創る会)

問 市町村と連携し、県全体でジェンダー平等をさらに進めるため、徳島県男女共同参画基本計画(第5次)の推進にどう取り組んでいくのか。

答 計画に、新たな視点として、賃金格差への対応、男性の家庭・地域における活躍、困難を抱える女性を支援する体制整備等を位置付ける。全市町村での計画策定を目指し支援を行う。

問 人口減少が一段と進む中、外国人との共生社会のあるべき姿を本県から発信すべき。外国人の就労と定着に向けた支援にどう取り組んでいくのか。

答 外国人雇用に関するコーディネートをワンストップで行う窓口の創設に加え、就労面と定着面での施策を一体的に構築することにより、トータルサポートの仕組みづくりに取り組む。

問 コロナ禍による外出自粛で孤独・孤立化した高齢者について、社会活動を広げるための居場所づくりやその周知が急務と考えるが、どう取り組むのか。

答 プラットフォームを新たに立ち上げ、孤独・孤立問題解消の取り組みを強化。また、活動量減少によるフレイル対策に、理学療法士の知見を生かした運動機能維持向上施策を展開する。

一般質問から

主な質問とこれに対する知事や関係部局の答弁の趣旨は次のとおりです。

答 知事の答弁 答 関係部局の答弁

新たな基金創設の見通しと本県独自の子ども施策の展開は



井下泰憲 (徳島県議会自由民主党)

問 こども施策の推進に向けた安定的な財源確保のための新たな基金創設の見通しと、基金を活用した国の施策を補完する本県独自の施策の展開は。

答 こども未来基金の設置に関する条例案を11月定例会に提出し、子育て関係者など様々な分野の皆様からの意見を本県独自の施策に反映させ、スピード感を持って具現化していく。

問 社会の変化に適應し、県民の期待と信頼に応えるため、将来の警察組織を担うにふさわしい人材の確保に向け、どのように取り組んでいくのか。

答 大学や高校訪問、公式SNSでの情報発信、採用年齢上限の引き上げや採用区分「心理」の新設などエキスパート人材の確保に加えて、働きやすい職場環境の整備等にも取り組む。

問 国土強靱化や環境保全等々の機能維持・増進の観点も含めた、持続可能な林業を達成するために必要な人材確保対策をどのように進めるのか。

答 林業人材DXセンターの運用開始や、三好林業アカデミーの開校を見据えたオンライン研修システムの構築・VR教材の作成などの機能強化により、多様な林業人材の確保に取り組む。

県民の生命に直結する防災情報の効果的な発信を



古野つかさ (徳島県議会自由民主党)

問 県民の皆様に向け、SNSを駆使した各地域に必要な確かな速報はもとより、防災情報全般をより一層効果的に発信する体制を構築すべき。

答 プッシュ型情報発信の進化に向け、SNS防災情報発信マニュアルを年内に作成。安心とくしまホームページも必要な情報を簡単に入手できるようにサイト刷新を目指す。

問 後継者不足により生産農家の廃業が危惧される今、阿波晩茶を産業として振興するために、今後、どのような対応が必要と考えているのか。

答 後継者の育成と、円滑な事業承継を図る必要があることから、標準的な生産・加工マニュアルの作成や、就業体験及び生産農家と就農希望者とのマッチング等を実施する。

問 那賀町の医療提供体制の安定的な確保に向けて、地域住民の安心・安全を支える公立医療機関の医師や看護師等の確保対策にどのように取り組むのか。

答 自治医科大学等での医師の養成、離職看護師の就職斡旋等支援体制を維持するとともに、地域医療の魅力を体感できる啓発事業への参加学生数増加に向け、地元那賀町等と連携し取り組む。

の質・量をさらに高めていく。

【答】 宿泊施設の新規立地に向け、県内外の宿泊事業者等への調査に加えて、民泊専門事業者に対しても民泊の導入・拡大についてヒアリングを行い、宿泊施設の質・量をさらに高めていく。

【問】 徳島の魅力度・認知度アップには、本場徳島の阿波おどりを実際に体感してもらうことが重要であるため、期間中の宿泊場所の確保に取組むべき。

【答】 各市町村と未来に向けた新しい関係の構築を図り、県民に開かれた県政を実現するため、特別交付税の役割等を踏まえながら、透明度の高い算定方法の導入を進める。

【問】 各町村の特別の財政需要を考慮して交付される特別交付税の算定方法について、抜本的見直しを検討すべきと考えるが、どうか。

【答】 PPAによる太陽光発電設備と蓄電池の導入拡大やEVの普及に向けて、導入支援策の検討を進めるとともに、充電インフラ整備方針を年度内に策定し、県下全域への整備を図る。



ふるかわひろし 古川 広志 (公明党徳島県議団)

脱炭素施策を迅速かつ最大規模で推進すべき

【答】 バス停や駅などにおける利用環境改善のため、交通事業者や沿線市町が実施する事業に対し、補助金による支援を実施。今後、沿線市町と連携し、駅の利用環境整備に取り組む。

【問】 近年、駅のトイレが廃止されている。県立学校の生徒が通学手段として利用する駅には、県が主体となつてトイレを設置してはどうか。

【答】 長年の課題として残る麻名用水堰の撤去に向け、吉野川市、石井町、県の3者で、課題解決への打開策を探っているところ。地元市町と連携し、浸水被害の軽減を図っていく。

【問】 長年、流域の住民が浸水被害に苦しんでいる飯尾川の改修を積極的に推進していくために、今後、どのように取り組むのか。

【答】 県民の声をしっかりと受け止め、「徳島病院の存続を強く求める」とされた県議会の決議を踏まえ、今後、国立病院機構に対し、要望も含め、対応を行う。

【問】 徳島病院は難病診療分野別拠点病院等の重要な役割を担い、存続は県民の総意。現在、移転統合計画は休止されているが、今後、存続に向けた考えは。



おかだ すずむ 岡田 晋 (元気とくしま)

徳島病院存続に向け、粘り強く要請活動を

常任委員会

9月定例会委員会の概要

特別委員会

●総務委員会

公安委員会関係では阿波吉野川警察署の新庁舎整備について、経営戦略部・監察局関係では収入証紙の在り方、県職員の働き方改革について、政策創造部関係では大阪・関西万博に向けた機運醸成の取り組みについて、未来創生文化部関係では新ホール整備の見直しに関する検討状況、徳島県文化芸術推進基本計画(第2期)の骨子案についてなど、それぞれ質疑や提言がありました。

●文教厚生委員会

教育委員会関係では教員の負担軽減に向けた取り組み、高校生の自転車通学時のヘルメット着用、不登校対策について、保健福祉部・病院局関係では慢性腎臓病に関する現状と対策、県立中央病院本館棟機能強化事業の目的や効果、インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の流行状況、盲ろう者の支援についてなど、それぞれ質疑や提言がありました。

●経済委員会

農林水産部関係では本格的な渡り鳥の飛来シーズンを控えた高病原性鳥インフルエンザの防疫対策、ナシの火傷病対策、林業人材DXセンター推進事業について、商工労働観光部関係では徳島県賃上げ応援金プラス事業のスキーム、とくしまワーク体感事業、徳島旅行クーポン事業、観光政策課の過去の不適正な事務処理についてなど、それぞれ質疑や提言がありました。

●県土整備委員会

企業局関係では企業局施設における太陽光発電設備の導入状況及び今後の取り組み方針について、危機管理環境部関係では徳島県環境基本計画等の改定や新たな徳島県GX推進計画の策定に向けた方針、特定外来生物への対応について、県土整備部関係では道路の維持管理、スーパーヨットの誘致による効果や課題についてなど、それぞれ質疑や提言がありました。

●地方創生対策特別委員会

県都のまちづくりに関し、ワーキンググループの今後の取り組み方針等や鉄道高架事業について質疑がありました。そのほか、観光ルートの造成や旅行者受入環境ブラッシュアップ事業、New AWAODORism発信事業、大阪・関西万博の関西パビリオン、秋のマチ★アソビ、移住ポータルサイト「住んでみんでとくしままで！」などについて質疑や提言がありました。

●防災・感染症対策特別委員会

新型コロナウイルス感染症に関し、10月以降の対策や病床確保について質疑がありました。そのほか、東部防災館開館後の利用状況、ヘリサインの設置推進、ワンヘルス推進月間における普及・啓発活動、総合防災訓練の振り返り及び今後の取り組み、南部防災館指定管理者の応募状況、鳴門病院のヘリポートの整備などについて質疑や提言がありました。

●消費者・環境対策特別委員会

とくしまSDGsシンポジウム2023に関し、シンポジウムの内容やエシカル消費の取り組み状況について質疑がありました。そのほか、県有施設への太陽光発電設備等率先導入事業、徳島県環境基本計画と徳島県GX推進計画(仮称)、消費者行政と消費者教育、J-クレジットの発行状況、徳島県版脱炭素ロードマップなどについて質疑や提言がありました。

●次世代育成・少子高齢化対策特別委員会

不適切保育に関し、防止に関する研修の実施、相談窓口の利用実績、監視カメラの設置などについて質疑がありました。そのほか、出産・子育て応援交付金、マリッサとくしまの取り組み、不妊・不育相談室の状況、学校給食、高齢者施設での利用者のプライバシー保護、困難な問題を抱える女性への支援に関する徳島県基本計画などについて質疑や提言がありました。

普通会計決算認定特別委員会

令和4年度徳島県一般会計歳入歳出決算並びに各特別会計歳入歳出決算の認定について審査するため、普通会計決算認定特別委員会を設置しました。

- 委員長 山西 国朗
- 副委員長 古野 司
- 委員 井川 龍二 原 徹臣 平山 尚道 庄野 昌彦
- 沢本 勝彦 岡 佑樹 達田 良子

企業会計決算認定特別委員会

県が行う流域下水道事業、電気事業、工業用水道事業、土地造成事業、駐車場事業及び病院事業の令和4年度決算の認定等について審査するため、企業会計決算認定特別委員会を設置しました。

- 委員長 大塚 明廣
- 副委員長 井村 保裕
- 委員 福山 博史 木下 賢功 元木 章生 東条 恭子
- 岸本 淳志 古川 広志 曾根 大志

用語解説

※1【脊柱側弯症】

脊柱(背骨)が何らかの原因で左右に曲がってしまう症状のこと。

※2【ジェンダー】

生物学的な性とは違い、男女の役割の違いによって、社会的・文化的に形成された性別のこと。

※3【フレイル】

加齢に伴い心身の活力が低下し、入院や要介護の危険性が高まる状態のこと。

※4【PPA】

「Power Purchase Agreement(電力販売契約)」の略。電力を必要とする側が事業者側に敷地や屋根などのスペースを提供し、事業者側が設備の無償設置と運用・保守を行う。電力を必要とする側は電気料金を事業者側に支払う。

※5【スーパーヨット】

外国人富裕層などが個人所有する大型クルーザーのこと。

※6【J-クレジット】

省エネルギー設備の導入や森林管理等による温室効果ガスの排出削減・吸収量をクレジットとして認証する国の制度。クレジットの活用で国内の資金循環を促し、環境と経済の両立を目指す。

常任委員会の県内視察の概要

総務委員会

- 県西部（令和5年7月14日）
農家民宿「ゆずの里いづみ」を視察した後、一般社団法人そらの郷と体験型教育旅行受入れを通じた地域活性化の取り組みについて意見交換を行いました。
- 県南部（令和5年7月25日）
令和3年度にリニューアルされたモラスコむぎの施設を視察するとともに、地域活性化の取り組みについて調査しました。



モラスコむぎ

経済委員会

- 県南部（令和5年7月31日）
株式会社四国の右下木の会社において、持続可能な林業手法「樵木林業」に準じた森林づくり、製品・サービス提供の取り組みについて調査しました。



株式会社四国の右下木の会社

文教厚生委員会

- 県中央部（令和5年6月7日）
徳島大学大学院医歯薬学研究部看護リカレント教育センターで、感染管理分野認定看護師の養成の取り組みについて調査しました。
- 県西部（令和5年7月7日）
特定非営利活動法人みよしサポート協会びあぞらが運営する施設「よらんdeやまき」を視察した後、ひきこもりサポートをはじめとする様々な取り組みについて調査しました。



よらんdeやまき

県土整備委員会

- 県南部（令和5年7月14日）
徳島南部自動車道阿南インターチェンジの工事現場において、事業概要の説明を受けた後、ランプ橋の上部工、下部工の施工状況を視察しました。
- 県西部（令和5年7月26日）
吉野川（沼田箇所）の河川改良事業を視察した後、西部防災対策連絡会議ライフライン部会とライフライン確保事業（倒木対策）について意見交換を行いました。



徳島南部自動車道 阿南インターチェンジ

徳島県議会と大学との包括連携協定事業

- 7月7日、議員が徳島文理大学総合政策学部の学生を対象に、「政治・行政・選挙～県政の役割～」と題して講演を行いました。
- 7月13日、徳島文理大学総合政策学部の学生57名が議事堂見学を行いました。
- 9月5日から9月21日までの間で5日間、徳島文理大学総合政策学部の学生2名、四国大学経営情報学部の学生1名が議会インターンシップに参加しました。
- 9月14日、徳島文理大学人間生活学部古本奈奈代教授に、「データ駆動型社会におけるデータサイエンス」と題して、講演をしていただきました。
- 9月定例会期間中（9月14日から10月10日まで）、徳島県議会議事堂1階ホールにおいて、四国大学運動部の活動を紹介するパネルを展示しました。

議会トピックス

- 関西広域連合議会の8月定例会が徳島県で開催されました（8月24日）。
- 議決対象としている「徳島県教育振興計画（第4期）」に係る全議員勉強会を開催し、質疑・提言を行いました（10月10日）。

議員連盟の活動

- 国際交流議員連盟が、2023年度外国人による徳島県日本語弁論大会に出席し、「徳島県議会国際交流議員連盟会長賞」を贈りました（7月23日）。
- 観光振興議員連盟が、アフターコロナにおける地域観光について、勉強会を開催しました（9月14日）。
- スポーツ振興議員連盟が、徳島県蔵本公園（むつみパーク蔵本）内において、改築工事が完了した屋外プール（むつみスイミング）を視察しました（10月2日）。

徳島県議会高校生フォトコンテスト募集中!!

高校生の皆さんから、「みんなに伝えたい徳島の魅力」をテーマとした写真を募集しています。

- メ切りは令和6年1月22日（月）（必着）
- 入賞作品は表彰（副賞）、展示、議会だより等に掲載予定



募集要項はこちら



ホームページ
二次元コード

応募先はこちら

メール
tokushimakengikai
dayori@pref.
tokushima.jp



Instagram
二次元コード

議会見学会のご案内

議事堂を見学してみませんか。電話でお申し込みの上、見学申込書を提出してください。
TEL：088-621-3010

見学に来られた方々

- 桑島婦人会（鳴門市）
- 瀬戸中学校（鳴門市）ほか

申込方法等はこちら



県議会だより「録音版」「点字版」を発行しています

ご希望の方は、次のところへご連絡ください。

連絡先/障がい者交流プラザ
視聴覚障がい者支援センター
TEL：088-631-1400

なお、県議会ホームページに、県議会だよりのPDF版、音声版も掲載しています。

議会日程

※日程は予定であり、変更する場合があります。

令和5年11月定例会の日程

- 11月27日 …… 常任委員会
- 11月28,29 …… 特別委員会
- 11月30日 …… 本会議（開会）
- 12月6日 …… 本会議（代表質問）
- 12月7日 …… 本会議（一般質問）
- 12月8日 …… 本会議（一般質問）
- 12月12～15日 …… 常任委員会
- 12月18,19日 …… 特別委員会
- 12月22日 …… 本会議（閉会）

議会クイズ

正解者の中から抽選で10名様に、「徳島県民手帳」（2024年版）をプレゼントいたします。



8月24日に〇〇〇〇議会の8月定例会が本県で開催されました。さて、〇〇〇〇とは次の3つのうちのどれでしょう。

- ① 四国4県連合
- ② 中四国連合
- ③ 関西広域連合

- 応募方法：はがき、電子メール、ファクシミリ又は応募フォームでクイズの答え、住所、氏名、電話番号、「とくしま県議会だより」についての感想を記入の上、次の宛先までお送りください。
※ご応募は、お一人につき1通までとさせていただきます。

- 応募先：〒770-8570（住所記入不要） 徳島県議会事務局 政策調査課
メールアドレス：tokushimakengikaidayori@pref.tokushima.jp
ファクシミリ：088-655-2530

- 締切：令和5年12月14日（木）消印有効
（当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。）

※お寄せいただいた個人情報は、プレゼントの送付とそれに係る業務のみに利用します。

ヒントは紙面上にあります!



徳島県民手帳（2024年版）

4種類の表紙と「オリジナルすだちくんシール」が付いてくる♪
今年は統計クイズやマンガもあるよ。ようけ使ってよ!
【提供】徳島県統計協会



とくしま議会だより第118号の議会クイズの答えは、
②議会改革検討会議でした。